

# しごとサポート!

第34号



※障害のある方が安心して働き続けることができるように、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。



中丸さんが働かれている本社にて撮影(左手から、中村氏、中丸さん、市川氏)

## 中丸忠雄さん 第一生命チャレンジド 株式会社 「長く継続した雇用のため」 ～当事者と企業 の話から見える秘訣～

### 【会社概要】

第一生命チャレンジド株式会社

2006年に設立。親会社は第一生命保険株式会社

本社：東京都北区田端6-1-1 田端アスカタワー10F

主な業務内容は印刷業務や書類作成、発送業務、  
事務サポート業務等をおこなっています

障害者の雇用が年々増加し、社会進出がより進む一方で、長く継続した就労が課題となる傾向にあります。今年度は「長く継続した雇用」をテーマに、障害種別問わず障害者雇用で長く働き続けるための秘訣を探りました。

本号では「第一生命チャレンジド株式会社」に15年間勤務している中丸忠雄さんと、上司である市川氏、中村氏を取材しました。中丸さんの仕事や職業生活を通して、職場定着のポイントを探っていきます。

### ◇日々の業務とやりがい

中丸忠雄(なかもまるただお)さんは専門学校を卒業後、知的障害から愛の手帳を取得しました。作業所での訓練や職場体験を経て2010年に「第一生命チャレンジド株式会社」に入社しました。現在、15年目を迎える中丸さんは、書類の発送業務や進捗状況の確認、コールセンターの応対記録を基にした郵送書類の準備など多様な業務を担当しています。中丸さん自身も15年間で振り返り、「あつという間でした。周りの人たちがとても親切で、たくさんの事を教えてもらいました。ここまで続けられたのは、職場の周りの人たちに恵まれたからだと思います」と話します。

中丸さんの主な仕事は書類の発送業務ですが、その多様な業務に日々取り組んでいます。「7月からは新しい業務が始まり、少し大変ですが仕事は楽しいです。お金を稼いで、欲しい物を買ったり外食したりすることがやる気の源です」と中丸さんは生き生きと語ります。

日々の業務では、発送業務のグループ内で進捗状況のチェックや委託元への新着状況の連絡、コールセンターでの応対記録を基に、顧客に郵送する書類を正確かつ迅速に準備する作業があります。上司の市川氏は「入社当時から

異動せず長年発送業務のグループに所属している大ベテランです。締切や進捗状況など色々なところに気付いてくれて、安心して仕事を任せる事ができます」と彼の技術と経験を評価しています。



田端本社の一室をお借りし、取材させていただきました。

### ◇リフレッシュの工夫と広い交友関係

仕事のリフレッシュ方法について、中丸さんは「仕事でひと段落着いた時や区切りが良い時に自宅から持って来た飲み物を一口飲んだり、トイレに行って洗面台で顔を洗ったりして気分転換をし、残りの時間も再び仕事に集中して取り組むことができます」と仕事の間にリフレッシュする効果について話してくれました。

「第一生命チャレンジド株式会社」の中村氏からは中丸さんの広い交友関係について「中丸さんは多くの部署のスタッフと仲が良く、顔が広いです。彼の所属するグループは会社設立当社から続いており、他スタッフも一度はこ

のグループを経験しています。そのため、部署を超えた繋がりが自然と生まれています。」とその理由を伺うことができました。

中丸さんはプライベートでは、休日に電車やバスで出かけたり、普段利用してる施設「ふらっとだんござか」で他の利用者と交流したりしているそうです。「編み物や物作りが好きで、リフレッシュの一環として楽しんでます。ふらっとだんござかでは、他にも仕事で表彰された事や自分の趣味を他の方と話すこともあり、そこでの活動が仕事への前向きな気持ちやストレスの解消につながっています」と語る中丸さん。

仕事と余暇をバランスよく楽しみ、仕事でも適宜自分なりのリフレッシュ方法を実践していることが中丸さんの「長く継続した雇用」を支えている理由の一つであると感じました。



表紙にも掲載した折り紙で作成したブーケ

#### ◇会社からみた「長く継続した雇用のために」

継続して働いてもらうために取り組んでいる事について市川氏、中村氏は「社員が自分が仕事を振り返る機会はありません」と感じています。そのためどれだけ仕事をしたのか、頑張ったのかを数字として目で見てわかるようにし『これだけみんな頑張ったよ』と伝えることで本人達の“頑張った”モチベーションに繋がるように取り組んでいます。」と話しておりました。



実際にどのような業務をおこなっているのか、中丸さんに一部実演して頂きました。(写真は封入の作業)

支援機関との連携についても話を頂き「仕事をしていて、不満やストレスに感じたことを上司や同僚に言えないと思います。そのような時に第三者みたいな会社と家族以外の場所や人がいてくれると良いのかなと感じています。そのような所がないと日々の生活が結局会社と家庭の行き来になってしまい、そのどちらかに不満やストレスを感じた時の逃げ場がなく、気持ちが一杯いっぱいになってしまい体調を崩してしまいます。そのような時にその不満に同意してくれたり共感してくれる、話を聞いてくれる人がいてくれれば気持ちを吐き出してスッキリできると感じます。そのためにも支援機関とは就職後も引き続き関わってもらいたいと思っています。中丸さんの所属しているグループでは月1回程度、様々なテーマで職員同士の発表や話し合いを実施しており、中丸さんには利用している支援機関について話してもらった事もありました。」と継続した雇用のための支援機関の重要性について話を頂きました。

次号では記事内でも中丸さんが余暇の居場所として話しておりました「ふらっとだんござか」をご紹介します。ご期待ください。

## EVENT x NEWS

### 講演会のお知らせ

#### 社内制度の整備を通じて多様な働き方を考える ～柔軟な働き方に対応する就業規則や職場環境調整のコツ～

来年1月31日(金)に文京シビックセンターにて、「社内制度の整備を通じて多様な働き方を考える」と題して特定社会保険労務士の内川氏をお招きし、実際の事例を交えながら、多様な働き方に対応するための就業規則のポイントや職場環境の調整方法についてお話しをいただきます。

障害者雇用のみならず、多様な働き方を求めるすべての方に対して、より柔軟で働きやすい職場環境を提供するためのアプローチを考える機会とします。

ご興味ある方はぜひお申し込み下さい。

参加費：無料

日時：令和7年1月31日 15:00~17:00 (14:30開場)

場所：文京シビックセンター スカイホール

申し込み方法

締め切り 1月22日(水)

#### ①専用フォームでのお申し込み

右記QRコードを読みとり専用フォームにて入力してください。



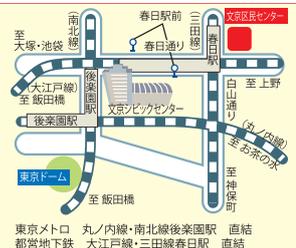
#### ②メールでの申し込み

メールアドレス：daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

件名は「1/31講演会申込」とし以下の内容を記載の上お送り下さい。

お名前/ご所属/ご住所/電話番号/講演会でできたい内容/必要な配慮(配慮が必要な方はご記載下さい)

※ご不明点等ございましたら当支援センターまでお問い合わせください



### 就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601 E-mail : daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

文京区民センター1階 文京区障害者就労支援センター

〒113-0033 文京区本郷4-15-14

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」 第34号(令和6年11月28日発行)

発行■文京区障害者就労支援センター 毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。